

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-99642

(43) 公開日 平成6年(1994)4月12日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 1 J 25/312 25/316 2/32		9305-2C	B 4 1 J 25/28 3/20	H 1 0 9 C
審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)				

(21) 出願番号 特願平4-277851

(22) 出願日 平成4年(1992)9月22日

(71) 出願人 000154680

株式会社平和時計製作所
長野県飯田市下殿岡435番地

(72) 発明者 今村 博之

長野県飯田市下殿岡435番地 株式会社平和時計製作所内

(72) 発明者 西川 登

長野県飯田市下殿岡435番地 株式会社平和時計製作所内

(72) 発明者 高橋 彰

長野県飯田市下殿岡435番地 株式会社平和時計製作所内

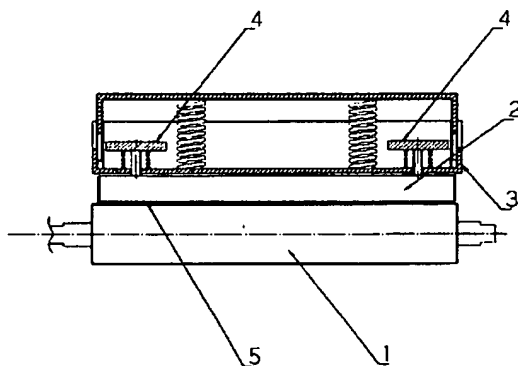
(54) 【発明の名称】 サーマルプリンターヘッドの加圧調整機構

(57) 【要約】

本発明は、サーマルプリンターにおけるサーマルプリンターヘッドの加圧機構に関するものである。

【目的】 本発明は、印字用紙幅の変化及び用紙印字位置の違いに対応してサーマルプリンターヘッドへの加圧の増減が自由に出来、印字画質を向上させるヘッド加圧機構を提供する事を目的とする。

【構成】 紙送りをするプラテン1と、用紙に印字するサーマルプリンターヘッド2と、サーマルプリンターヘッドを加圧するブラケット3、加圧力を調整する調整ネジ4等から構成される。



1

2

【特許請求の範囲】

サーマルプリンターヘッドをブラテンに押し付け、サーマル紙又は熱転写リボンと用紙を加圧してサーマルプリンターヘッドを発熱させて印字するサーマルプリンタにおいて、サーマルプリンターヘッドの中央部より加圧されることにより、サーマルヘッド全体が均等な圧力で押されているが、さらに用紙幅の変更及び用紙印字位置の変更に対応して加圧の増減が自由出来る事の特徴としたヘッド加圧機構

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、サーマルプリンターヘッドの加圧機構に関し、具体的には紙幅及び用紙印字位置の違いによる印字状態の違いを加圧力を増減させる事により是正の出来る装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】第3図を参照し、サーマルプリンターヘッド2をブラケット3にサーマルプリンターヘッド2中央部を支点として、可動するように固定し、ブラケット3上面よりブラテン1へサーマルプリンターヘッド2を加圧する事により、サーマルプリンターヘッド2が印字用紙又は、熱転写リボン、に与える圧力を一定に保つ機構が一般的であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】第4図を参照し、上記の機構において、サーマルプリンターヘッド2に加圧し紙幅の狭い印字用紙をサーマルプリンターヘッド2の両端のいずれかで印字した場合、サーマルプリンターヘッド2は用紙厚分傾く、これにより印字用紙に与える圧力に変化が生じ、紙幅の狭い物は紙幅の広い物と比べ印字画質が著しく低下する問題がある。

【0004】

【課題を解決するための手段】第1図を参照し、用紙幅が狭い印字用紙5がサーマルプリンターヘッド2の端部及びブラテン1に圧接される時、ブラケット3の突起部を支点としてサーマルプリンターヘッド2が傾く為、用紙に与える印字圧力は不安定になる。この不安定な印字圧力を左右の調整ネジ4の締め付け又は緩めにより、ブラテン1に対してサーマルプリンターヘッド2を平行に保つように調節する事および、印字用紙に適度の圧力

が加わるよう調節する事により、印字用紙に鮮明な画質で印字が施される。

【0005】

【実施例】第1図及び2図に示す本発明におけるサーマルプリンターヘッドの印字圧力調整機構を説明する。先ず全体構成を示した第2図を参照して全体概略を説明すると、印字用紙5及び転写リボン6は各ガイド等により供給されて、ブラケット3に支持されたサーマルプリンターヘッド2をブラテン1に圧接させ、サーマルプリンターヘッドに通電する事により印字される。次に第1図を参照して、上記の如く、ブラケット3に取り付けられたサーマルプリンターヘッド2をブラテン1に圧接し、紙幅の狭い印字用紙をサーマルプリンターヘッド2の両端のいずれかで印字する場合、用紙厚分サーマルプリンターヘッド2が傾き（第4図参照）用紙に与える印字圧力に変化が生じる。この紙幅の狭い印字用紙を印字する場合に於いて、調整ネジ4を回転させる事によりネジがヘッドの隙間のパラツキを平行に調整でき、圧力の調整も同等に行える。このように操作してサーマルプリンターヘッド2の印字圧力を安定した状態に達成できる。また、狭い用紙がサーマルプリンターヘッド2の片側だけで使用が限定された場合は調整ネジ4は、印字用紙側だけで印字調整可能である。

【0006】

【発明の効果】本発明のサーマルプリンターヘッドの加圧調整機構は、どの様な用紙幅の印字用紙であっても印字圧力を一定に保つ事の出来る機構なので、用紙上に鮮明な印字を確実に与える利点を有する。

【図面の簡単な説明】

【第1図】 本発明の印字圧力調整機構の正面図

【第2図】 側面図

【第3図】 従来の機構の正面図

【第4図】 課題説明の正面図

【符号の説明】

1：ブラテン

2：サーマルプリンターヘッド

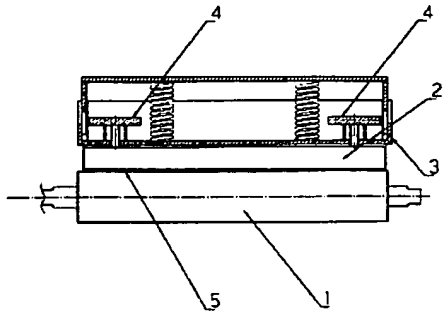
3：ブラケット

4：調整ネジ

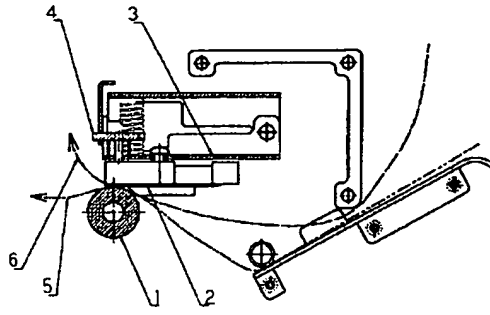
5：印字用紙

6：転写リボン

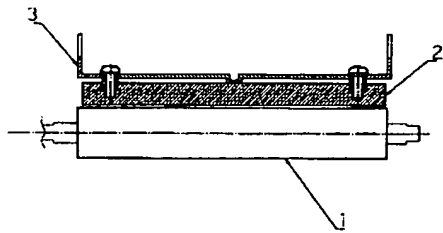
【第1図】



【第2図】



【第3図】



【第4図】

